

てんが新聞

17.10.No249
発行所 岡山日出夫
責任者 岡田日出夫
0883-88-5292

言葉が踊る
安倍に注意

自作自演の 国難にだまされんぞ

やっほり、突然の衆議院の解散劇に怒りてくる。身うち疑惑について、明うかにする。と言いつけ憲法は強く主務大臣は何しこのののとおもえる程外国へ出かけて、言いたいほうだい。

その上、あのトランプに尻尾を振ってばかりで、日本としての自主外交なんぞ出来な。おしつけ憲法は強く主張して、アメリカの顔色をうかがうばかり。

世界中の指導者を知つてはいないが、今、一番問題なのは、金朝鮮民と義国の人と、アメリカトランプ大統領。そして、我が国の安倍首相の三人をあげる。



今、世界をかきまわつてくる三人にとおもいます。

安倍が首相になつてから、国会を転ぐばかり、失言をくり返すことも、撤回して終わり。そしてまた失言。どうも意識してやつてゐる様だ。

特定秘密保護法、共謀罪を含む組織的犯罪処罰法、また安全保障関連法は、憲法9条に抵触する疑いありという法律。その上、「国民の命を守る」と言いながら、北朝鮮の核ミサイルについて喜んでゐるのは、誰かを考へると、「国難」を作つてゐるのは、今の安倍首相ではなにか



とおもふこころはない。

本来なら、韓国、中国、ソ連との外交で、軍事力に頼らない解決の道がみつかるはずだとおもいます。

ともかく、民主主義で選んでゐるのだから、誰を選べるかが問われてくる。

「だまされなさい」なめられなさいことが必要なこと。

ある本の中に「権力の中にいる過激派ほど手におえないものはなし」と言う言葉が、よく理解できるほどだ。

「ああ」という事のはい十月にしなければとあつたりするがめ。

